

県指定 天然記念物

狩生鍾乳洞内の動物

国指定天然記念物「狩生鍾乳洞」内に生存する好洞性、真洞性の動物をまとめて指定したものである。キクガシラコウモリ、コキクガシラコウモリ、ユビナガコウモリの3種は好洞性動物で、県下に普通に分布しているが、これらの糞塊が洞内の他の真洞性動物の食物源となっているため、一括して指定されている。真洞性動物の多くはトビムシ類・アリズカムシ類・ゴミムシ類である。また、本洞で最初に発見され、狩生の名の付いたカリウオニアリズカムシ・カリウクサグモなどもある。これらの虫はいずれも多湿で暗く、温度変化の少ない洞内の環境に適し、一部目が退化したり、無くなったりしているものがある。また、目に変わって触手の発達したものが多く、長い間洞内に生活し、他との交流がないため、少しずつ独自の変化を遂げて別種となったものもある。